

日農 ニュース Plus

企画・制作/日本農業新聞 広告部

令和6年度版 都市農家・地主の税金ガイド

清田幸弘/編・著 税務研究会

税務研究会は令和6年度版の「都市農家・地主の税金ガイド」を発行した。編著者は都市農業の税制に詳しいランドマーク税理士法人の清田幸弘代表税理士で、毎年、税制改正に合わせて本書の改訂をしている。

今回は令和6年度の税制改革で実施される「所得税・個人住民税の定額減税」や「子育て世帯等に対する住宅ローン控除等の拡充」、資産課税における「住宅取得等資金贈与の非課税措置の延長」、法人課税における「中小企業向け賃上げ促

進税制」などを本書の冒頭で丁寧に解説した。

次いで、所得税、法人税、相続税・贈与税などをそれぞれ一問一答式で端的にまとめている。所得税の年額速算表、所得控除一覧表、ふるさと納税上限額の早見表なども収録。経営改善につながる適切な納税を学べる。定価1980円(税込)。

問い合わせは下記の税務研究会ホームページ問い合わせフォームから。<https://www.zeiken.co.jp/contact/request/>



食物と健康の科学シリーズ

そばの科学

池田清和/編 朝倉書店

朝倉書店は「そばの科学」を発行した。同書は、果実や茶などの農産物、酢や油脂などの食品原料、干物や漬物といった加工食品を多面的に解説する「食物と健康の科学シリーズ」の最新刊だ。

世界におけるソバの栽培起源や歴史、各国の食べ方と加工利用法、植物学的特徴、日本のソバ品種についてなどを詳説。続いて栄養と機能性成分を分析し、そばアレルギーについても解説する。

さらには、そばをおいしく感じる科学的理由や、

ダッタンそばと普通そばの比較などを加え、あらゆる角度からそばの実態に迫った。

そば愛好家はもちろん、そばを扱う外食チェーンなどの食品関連企業や、そばを使ったメニュー開発をする農家レストランの運営者、直売所への出品者などにも、そばへの理解を深めるための一読を勧めたい。定価3520円(税込)。問い合わせは朝倉書店、電03(3260)0141。



傾いた松田牧場の牛舎 (石川県珠洲市で)

能登半島地震で被災松田牧場 再建かけCF開始

石川県珠洲市

酪農を営む松田牧場(石川県珠洲市)は、令和6年能登半島地震で全壊した牛舎の再建に向け、クラウドファンディング(CF)で支援金を募り始めた。達成期日は9月8日まで。

同牧場では4棟ある牛舎のうち、2棟が全壊。現在も断水は解消しておらず、毎日の牛の飲み水(ト)を3時間かけて運搬している。牧場主の松田徹郎さんは「復旧しなければならぬ施設は多数あるが、牛舎再建だけでも自己負担額が6

400万円超となり、今後経営を継続していくことが困難」と話す。自己負担額の約半分の3000万円の支援金をCF

東京・日本橋で 農高生が米販売

6、7日に三越本店で 鳥取県立倉吉農業高校

鳥取県立倉吉農業高校

(鳥取県倉吉市)は7月6、

7の両日、日本橋三越本店

(東京都中央区)のお米売

り場「お米場 田心」(運

営「越後ファーム、本社・

新潟県阿賀町)で、同校生

らが育てたこだわりの米を

試食販売体験する。

同校は2023年12月に

開かれた第14回「全国農業

高校お米甲子園」で、9年

連続の入賞となる特別優秀

賞に輝いた。「お米甲子園」

は米・食味鑑定士協会が主

催する、全国の農業高校が

実習田で育てたお米を競い

合う大会。後継者不足・若者の米離れが進む中、未来を担う高校生たちに米作りを見つめ直し、世界最高水準の日本のお米に誇りを持つてほしいとの思いから始まった。

今回の販売イベントでは、富士見中学校(東京都練馬区)の美術を選択する生徒が越後ファームとの企業連携プロジェクトとしてお米のパッケージのデザインを作成した。倉吉農高の生徒は、自分たちで作ったお米を同じ高校生が作ったパッケージで販売体験をする。

問い合わせは越後ファームの近正(こんしょう)、電090(5216)4132。

で募る。返礼品は同牧場の牛乳も使われているアイ・ミルク北陸製の牛乳や、飲むヨーグルトの「のとそだち」の他、ジェラートや能登牛などを予定している。CFの詳細は、下記QRコードのページから。

